

## 山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

### 1. 平成 17 年度の進捗状況

#### (1) ワーキンググループ (WG) 開催状況等

17年 5月24日～6月3日 実証運営機関の公募  
今年度、WG検討会は5回程度開催する予定

(WG検討員名簿は資料 2-3-2 参照)

#### (2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

- ① 長野県(16年度から継続)
  - 実証対象技術：生物(好気性)・土壌処理方式  
実証試験再開。
- ② 静岡県(16年度から継続)
  - 実証対象技術：生物処理方式(かき殻を利用した浄化循環式トイレ)  
実証試験再開。
- ③ 神奈川県(16年度から継続)
  - 実証対象技術：土壌処理方式  
実証試験再開。
- ④ 富山県(16年度から継続)
  - 実証対象技術：コンポスト処理方式  
実証試験再開。

### 2. 今後の予定

- ・実証試験要領の改訂。
- ・実証機関の公募、選定。

### 3. その他

実証試験の効率化に向けた小委員会での検討結果

- (1) 申請資料の充実
- (2) 試験場所の条件緩和
- (3) 試験期間の見直し
- (4) 室内環境計測の簡素化
- (5) 分析方法の一部簡素化
- (6) 試料採取回数の見直し
- (7) 越冬試験の簡素化

平成 17 年度環境技術実証モデル事業検討会  
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発 (冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)  
桜井 敏郎 三井造船(株) 環境・プラント事業本部長付  
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所主任研究員  
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授  
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>  
吉田 孝男 NPO環境資源保全研究会代表  
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)